

三沢市立三沢病院での外科実習を終えて

弘前大学医学部医学科5年 内城大輔

2024年1月9日～2月2日までの約1ヶ月間、三沢病院外科で実習させていただきました。この1ヶ月の実習の中で回診や手術などを通じて、大学の実習では経験することができなかった抜鉤、縫合、腹腔鏡手術でのカメラ操作、イレウスチューブ挿入などいろいろなことを経験させていただきました。他科ではただ見学しているだけのことも多かったのですが、学生にいろいろなことをやらせてみよう、経験させようという外科の方針はとても良いものだと思います。いろいろな経験をさせてもらったことで回診や手術に参加している実感が湧き、とても有意義な時間になったと感じています。回診中や手術中でもどんな質問にも快く答えていただける雰囲気があったので、学生側としても実習に取組みやすい環境だと感じました。



実際に手技を行う際にはやり方が悪いところをすぐ指摘していただき、実践する機会を1回だけではなく、何回もいただくことができ、大変ありがたく感じました。特に手技の中では埋没縫合はなかなか上手にすることができませんでしたが、自主練習用のキットを貸していただいたり、どのようにすると上手いくのか見本をみせていただいたり、縫合する際のコツなどを教えていただけたおかげで4週目には1針で縫える程度の創には自信を持って縫合できるくらいには成長できたと思います。

手術中には解剖に関する質問を何回もしていただいたり、どのような構造になっているのかをきちんと解説していただけたことで三沢病院での外科実習が始まる前よりも解剖に関する知識が深まったと感じています。さらに手術の時に何を考えてやっているのか、どうやったら術者が手術しやすいか、左手をどのように使うのかなどを話しているのを聞くことも勉強になったと感じています。腹腔鏡を用いた手術の際にはカメラの操作もさせていただきました。初めて触ったときは操作が上手にできず、自分自身にショックを受けましたが、何回か挑戦させていただけたことで少しずつですが、上手になっていっている実感を抱きました。

最後になりますが、外科の松本先生、池永先生、澤野先生、神田先生、そして研修医の高橋先生、森先生をはじめ病院スタッフの皆様、担当させていただいた患者様には大変お世話になりました。この1ヶ月間で指摘されたことはきちんと反省して、次の6年生での外科実習やさらには卒業後の初期研修にも役立てていきたいと思っています。お忙しい中、1ヶ月間ご指導いただきありがとうございました。

2024.1.9～2024.2.2